

項目	月日 /	手術当日（月日）		/
	入院日	手術前	手術後	退院日
目標	手術の必要性を理解していただき、手術が受けられるよう援助いたします。	→	痛みの軽減を図り、合併症の早期発見をして適切に処置が受けられるよう援助いたします。	創部の異常がなく、痛みがコントロールされて退院できるよう援助いたします。
治療 処置 薬剤	自宅で服用していたお薬があれば持参して下さい。入院後お預かりします。  眠れない時は看護師にご相談下さい。	 手術衣に着替えてから点滴をします。 	 手術中  点滴は本日中終了します。 安静による血栓予防のために、足にマッサージの機械をつけます。	回診で創部の圧迫ガーゼをはがし、防水のテープを貼ります。退院後はそのまま入浴できます。 回診後マッサージの機械をはずします。
活動 安静度	特に制限はありません。	特に制限はありません。	翌日の主治医の診察まで、ベッド上安静になります。寝返りはできますが、座位にはなれません。 	主治医の診察後、初回歩行を看護師と一緒にいきます。めまいやふらつきがなければ1人で歩行できるようになり、安静制限がなくなります。
食事	夕食まで食べられます。午後9時より絶食水となります。 	食べたり、飲んだりできません。 	医師の指示により水分摂取ができます。摂取時間は担当看護師よりお知らせします。夕食から食べられます。ベッドで横向きのまま食べていただきます。 	
清潔	手術部位(ソケイ部)の剃毛を行います。その後、入浴していただきます。 	洗面、歯磨きをして下さい。男性は髭そりをして下さい。		清拭を行います。退院後は入浴できますが、長時間の入浴は出血の原因になるので避けて下さい。
排泄			尿の管が入ってきます。排便はオムツでの排泄になります。	朝の検温時に尿の管を抜きます。
看護	入院前の生活や症状についてお聞きします。血圧・体温・脈拍を測定します。  手術に必要な物品(バスタオル2枚)をお預かりします。	手術室入室前に、血圧・体温・脈拍を測定します。	手術後の状態を知るために、血圧・体温・脈拍測定創部の状態の観察をします。	→ 尿の管が抜けた後の、初回尿の確認をします。
患者様及 ご家族への 説明	入院手続きをしていただきます。保険証・印鑑・診察券・問診票・保険外同意書を持参して下さい。 主治医より手術についての説明があります。同意書にサイン、印鑑を押して提出して下さい。時間は入院後担当看護師よりお知らせします。 	[ご家族の方へ] 手術中は病室で待機していただきます。病室を離れる時は、看護師へお伝え下さい。 	麻酔の影響で頭痛や吐き気が出る場合があります。それらの症状を予防するために、翌朝までベッド上の安静が必要になります。創痛、頭痛、吐気などの症状がある時はご相談下さい。	午前中の回診が終了したら退院できます。会計が終了したら、次回の受診予約表と退院処方(痛み止め)をお渡しします。 

症状に応じて、予定は変更になる場合があります。ご不明な点がございましたら医師・看護師にお尋ねください。

竹田総合病院 外科 平成29年4月作成

本人・家族:

印